
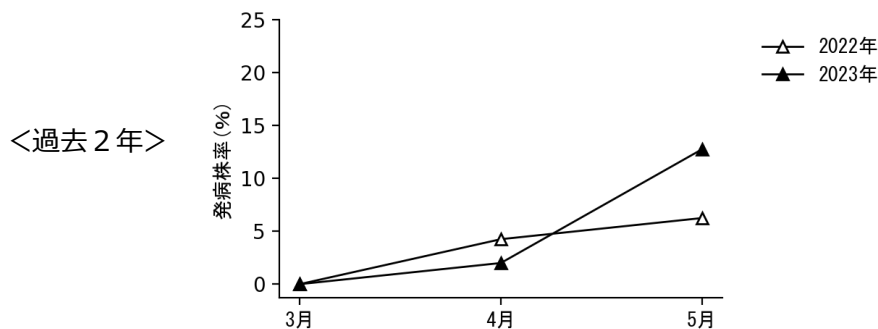
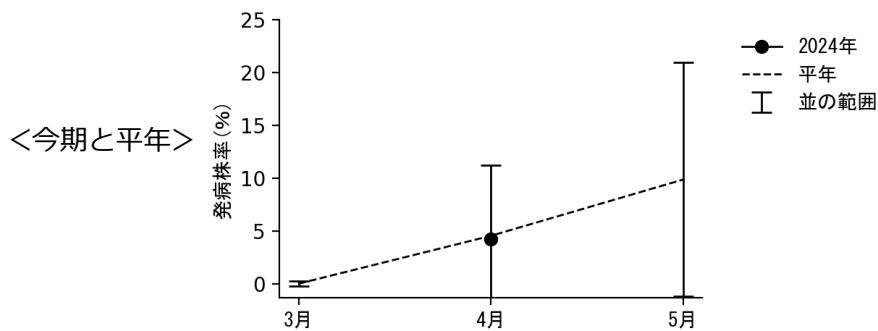


作物	水稻（1期）	地域	八重山群島
病害虫名	① 葉いもち病		
調査結果	4月の発生量（平年比）	並	
予報	4月からの増減傾向	↗	
	5月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗）	

調査結果

発病株率の推移




- ・発病度1.1※（平年1.4）
- ・発生ほ場率25.0%（平年：31.9%）

防除のポイント

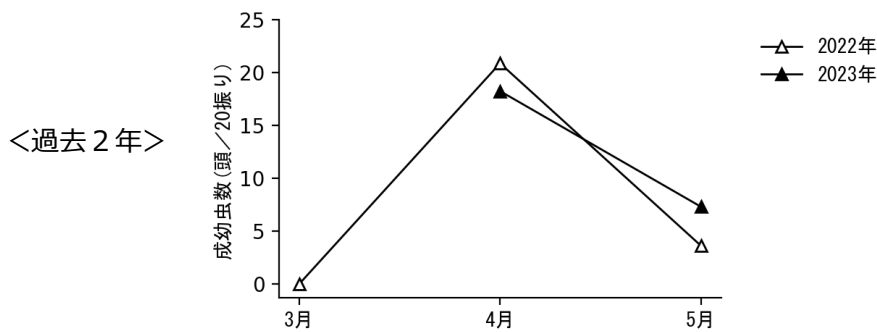
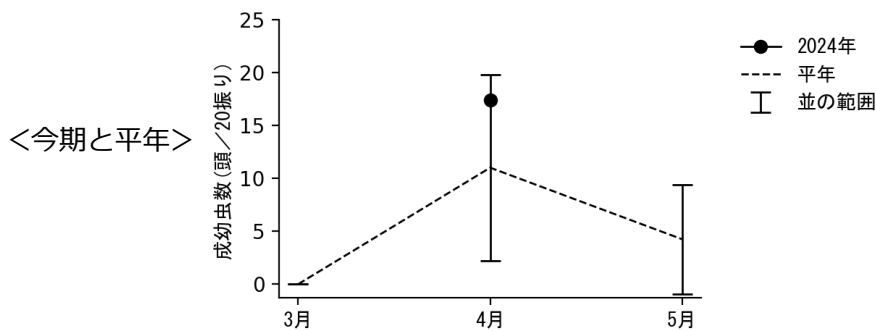
- ・窒素肥料の過用により徒長した場合や葉色が濃い場合に発生が多いため、これらのほ場では施肥量を減らすか、ケイ酸資材の施用を行う。
- ・穂いもち病への移行を防ぐため、発生を確認したら速やかに薬剤防除を行う。
- ・発生の多い地域では、共同防除を行う。

- ※発病度
- 1：病斑がわずかに見られる（病斑面積率0.5%程度）
 - 2：病斑がかなり見られる（同2%程度）
 - 3：かなり病斑が見られ軽いずり込み症状を呈する（同10%程度）
 - 4：下位葉は枯死し、ずり込み症状を呈する（同50%以上）

作物	水稻（1期）	地域	八重山群島
病害虫名	② セジロウンカ		
調査結果	4月の発生量（平年比）	並	
予報	4月からの増減傾向	↓	
	5月の発生量（平年比）	やや多	
予報の根拠		平年の発生量の推移（↓）	

調査結果


成幼虫数の推移



・発生ほ場率100%（平年：71.3%）

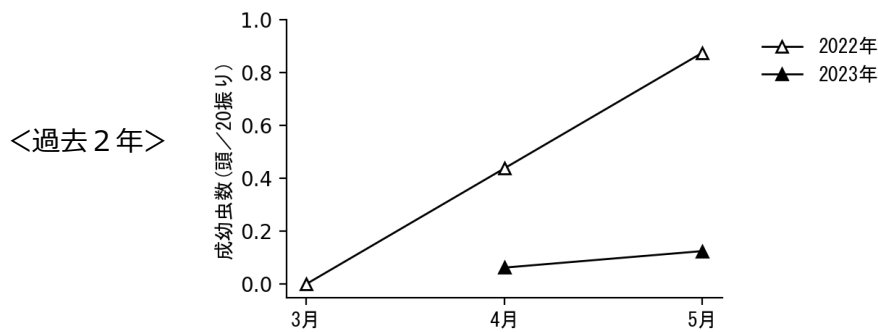
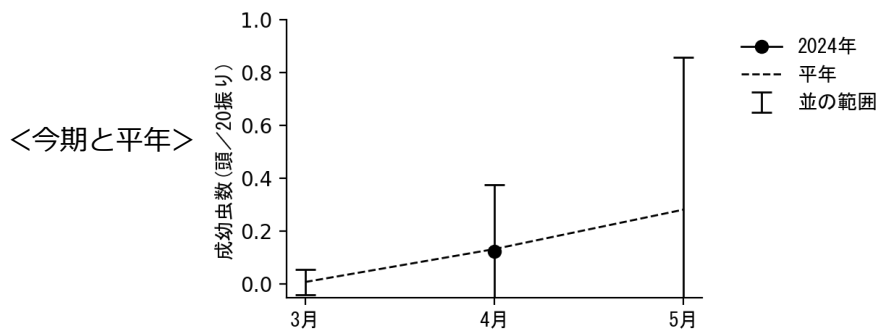
防除のポイント

- ・ウンカ類は株元に生息するため、薬剤防除を行う場合、株元に十分に薬剤がかかるように心がける。
- ・突発型の害虫であるため、発生予察情報を注意する。

作物	水稻（1期）	地域	八重山群島
病害虫名	③ ツマグロヨコバイ		
調査結果	4 月の発生量（平年比）	並	
予報	4 月からの増減傾向	↗	
	5 月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗）	

調査結果


成幼虫数の推移



・発生ほ場率12.5%（平年：9.9%）

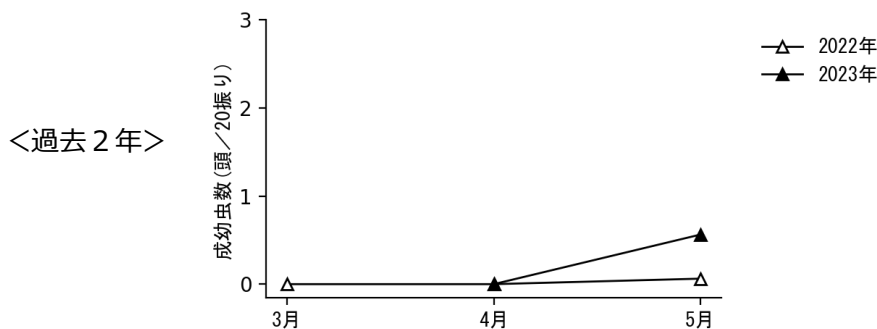
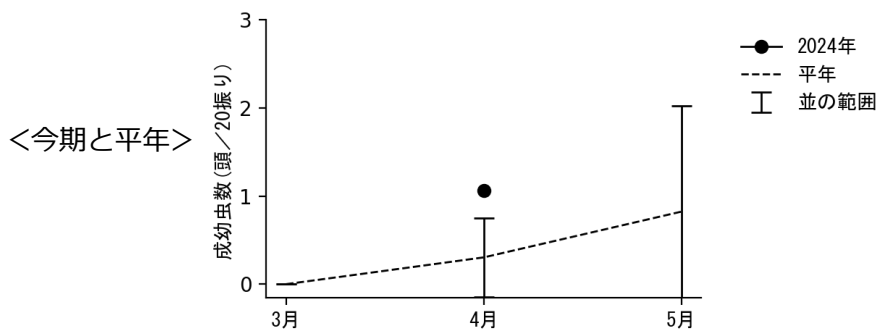
防除のポイント

- ・水田周辺の雑草防除を行い、発生源を少なくする。

作物	水稻（1期）	地域	八重山群島
病害虫名	④ 斑点米カメムシ類		 <p>ホンハリカメムシ</p>
調査結果	4 月の発生量（平年比）	やや多	
予報	4 月からの増減傾向	↗	
	5 月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗）	

調査結果

成幼虫数の推移



・発生ほ場率25.0%（平年：17.1%）

防除のポイント

- ・薬剤防除は穂揃期とその7～10日後の2回実施を基本とする。
- ・次作に向けた密度低減を図るため、収穫後に畦畔および水田周辺の除草を行う



ミナミアオカメムシ



アカカメムシ



斑点米